新 潟 市 報 道 資 料
令和８年 11 月２０日
食と花の推進課

NIIGATA CITY - Press Release

報道各位

「第９回食の新潟国際賞」受賞者による市長表敬訪問のお知らせ

世界において食と農の分野における問題解決と発展に貢献した人を顕彰する「第９回食の新潟国際賞」の受賞者が、受賞の報告のため、新潟市長を表敬訪問いたします。ぜひ皆さまから取材いただきますようお願い申し上げます。

【日　時】　令和８年１１月２４日（火）午前１０時から

【会　場】　新潟市役所　秘書課　第２会議室（本館３階）

【訪問者】　「第９回食の新潟国際賞」受賞者

大賞	安藤（あんどう）　宏基（こうき） 氏
佐野藤三郎特別賞	トリストラム・スチュアート 氏
21 世紀希望賞	木下（きのした）　政人（まさと） 氏
地域未来賞	松本（まつもと）　将史（まさふみ） 氏

【対応者】　新潟市長　中原 八一

※取材を希望される方は、事前の申込みは不要です。当日、開始１０分前までに直接お越しください。

受賞者の主な受賞理由

大賞　安藤 宏基 氏

国際連合世界食糧計画 WFP 活動の支援と普及のため、民間からの寄付や支援の輪を広げた。

紛争や災害の緊急支援等、多角的な食料支援活動を推進し、世界の飢餓や貧困問題解決に大きく貢献した。

佐野藤三郎特別賞　トリストラム・スチュアート 氏

フードロス問題の実態を告発し、世界のフードロスへの意識を高め、国連の SDGs 策定に影響を与えた。フードロスの先駆者として、世界的な活動を評価する。

21 世紀希望賞　木下 政人 氏

世界初のゲノム編集技術を魚類に実用化し、マダイやトラフグの養殖に成功した第一人者である。

今後の世界の食糧問題、環境保全分野での SDGs に大きく貢献する研究活動である。

地域未来賞　松本 将史 氏

高校教諭時代、生徒と市場価値の低い鮭を利用して、魚醤「最後の一滴」を開発販売した。

退職後、製造販売会社を立ち上げ、その収益を教育費として還元しながら、職場での学びと公立学校教育を融合した仕組みを構築。現在は、水産業のみならず多様な産業での就労を基盤とした通信制高校サポート校を開校し、新しい教育モデルを実践している。

【お問い合わせ先】
新潟市農林水産部食と花の推進課　担当：井浦
TEL　025-226-1802　E-mail　shokuhana@city.niigata.lg.jp